

令和7年12月25日

むつ総合病院再建事業について

むつ総合病院再建事業について、御報告いたします。

青森県東方沖地震の被害状況を受けまして、これまで検討を進めてまいりました「新病棟建設事業」は「再建事業」に事業名を変更し、災害復旧を含めた事業を進めることといたしました。

この度、本年6月30日付けで契約を締結しております「むつ総合病院一般病棟整備に関する検討業務委託」が完了し、その結果を踏まえた新たな施設整備方針を策定しましたので御報告いたします。

むつ総合病院の一般病棟の整備方法の検討については、これまで耐震化及び長寿命化と新築整備の比較検証を行ってまいりました。

検討を行った結果としましては、耐震化及び長寿命化は、技術的には実施可能との報告を受けましたが、改修工事による騒音や振動など、入院患者への影響が大きく、患者が入院した状態で実施する工事は極めて困難であることから、新築での整備を決定したところであります。

また、耐震改修の建設工事費は、230億円から261億円で、想定期は38ヶ月から51ヶ月、新築の場合の建設工事費は、204億円から276億円で、想定期は32ヶ月から37ヶ月という結果のとおり、耐震改修の事業費が高額であり、工事期間も長期に渡ることも、新築を選択した要因の一つであります。

新築の検討に当たっては、前回の事業計画を見直しし、規模縮小した内容について複数の財政シミュレーションを行いながら、実施可能な事業規模を決定するため、病床数と付帯施設の精査を行っております。

令和7年12月22日付けで策定しました「むつ総合病院施設整備方針」では、病床数規模を200床から250床程度とし、付帯施設としては、手術室を新設するほか、既存の一般病棟における機能を中心とした病棟を新築することとしております。

また、新病棟の建設場所は、前回の事業計画と同様に金谷公園側に病院敷地を拡張することとし、むつ市総合経営計画にも定めているコンパクトシティ構想の実現を目指します。

概算事業費は、今後想定される資材価格や労務費といった社会情勢の変動にも対応するため、解体や外構を含めた新病棟の総事業費は、281億円から364億円を見込んでいます。

既存病棟の復旧につきましても、今回の地震の影響調査を行い、地域の皆様にこれまでと変わらぬ医療を提供できるよう対応してまいります。

現在、12月8日に発生しました青森県東方沖地震の被災状況を踏まえて、国・青森県・むつ市による協議体を設置する予定であり、年度内には、再建計画を策定し、復旧に向けた体制を整えます。

地域の皆様の生命と健康を守るため、病棟再建の早期実現を目指して事業を進めてまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。